

2025 年 06 月 24 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【中東情勢】

この週末（2025 年 6 月 22 日 日曜日）、米国軍はイランの主要な核施設（3 か所）に大規模な攻撃を実施した。

中東の軍事的リスクは拡大した。

先週末（2025 年 6 月 20 日 金曜日）のドル／円のニューヨーク・クローズは、146.00 アラウンドだったのだが、週明け月曜日（2025 年 6 月 23 日）のマーケット（外国為替市場）は、「ドル買い円売り」に反応し、146 円台ミドルでオープンした。

そして、週明け月曜日（2025 年 6 月 23 日）のドル／円は、148.00 アラウンドに上昇した。

ただし、148.00 アラウンドからは下落に転じています。

+++++

この日（週明け月曜日、2025 年 6 月 23 日）のニューヨーク市場で、F R B のボウマン副議長が、以下の発言をした。

「インフレが引き続き鈍化した場合、来月（7 月）の利下げを支持する」

この発言をきっかけに、マーケット（外国為替市場）は、「ドル売り円買い」に反応し、ドル／円は、148.00 アラウンドから、大きく下落しています。

+++++

ドル／円は、下落を続けて、本日（2025 年 6 月 24 日 火曜日）の東京市場では、145 円台ミドルを付けています。

+++++

中東における「戦争（戦闘）」を材料に、マーケット（外国為替市場）が大きく変動しています。

ただし、本日（2025 年 6 月 24 日 火曜日）の東京市場の時間に、トランプ大統領が、突如として停戦の合意を発表しました。

停戦合意の背景には、イスラエルとイラン双方の立場を配慮したトランプ政権の戦略があった、とされています。

+++++

中東情勢に関しては、今後の報道に留意し、それぞれの国の対応に注目する必要がある、と考えます。

今回のケースのように、それぞれの国の対応のスピードが速く、マーケット（外国為替市場）が振り回されることは、今後も多々起こり得る、と考えます。

+++++

このように、変化の大きい時のポジションの取り方としては、ストップ・ロス・オーダー（損切り注文）を必ず入れておく等の対応が必要、と考えます。

+++++

（2025 年 06 月 24 日東京時間 15：15 記述）